

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

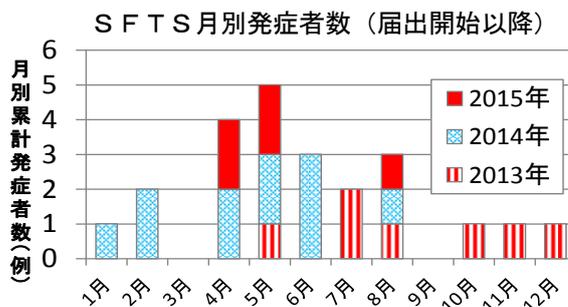
宮崎県第33週の発生動向

トピックス

・**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)** (全数報告の感染症) の届出が日南保健所から1例あった。県内での報告は今年5例目、累計24例目となった。患者は80歳代男性で、8月上旬に発症した。ダニの刺し口があり、海外渡航歴はなかった。

SFTS月別発症者数 (届出開始以降)

~40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代~
1	2	6	6	8	1



全数報告の感染症 (33週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核3例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症3例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱2例。
- 5類感染症：後天性免疫不全症候群1例、水痘(入院例)1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型、病名	症状等
2類	結核	都城	80歳代	男	肺結核	痰
		日南	40歳代	女	疑似症患者	発熱、呼吸困難
		高鍋	60歳代	男	疑似症患者	頭痛(髄膜炎疑)
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	5~9歳	女	—	腹痛、血便、O157(VT1,2産生)
		高鍋	40歳代	女	—	症状なし、O157(VT2産生)
			70歳代	男	—	症状なし、O157(VT2産生)
4類	重症熱性血小板減少症候群	日南	80歳代	男	—	発熱、下痢、食欲不振、血小板減少、白血球減少、出血傾向、刺し口
	日本紅斑熱	都城	70歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常
		日南	60歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	AIDS	発熱、咳嗽、喀痰、呼吸困難、下痢、食思不振、体重減少 指標疾患：ニューモシスティス肺炎
	水痘(入院例)	宮崎市	20歳代	男	検査診断例	発熱、発疹、ワクチン接種歴無し

□ 定点把握の対象となる5類感染症

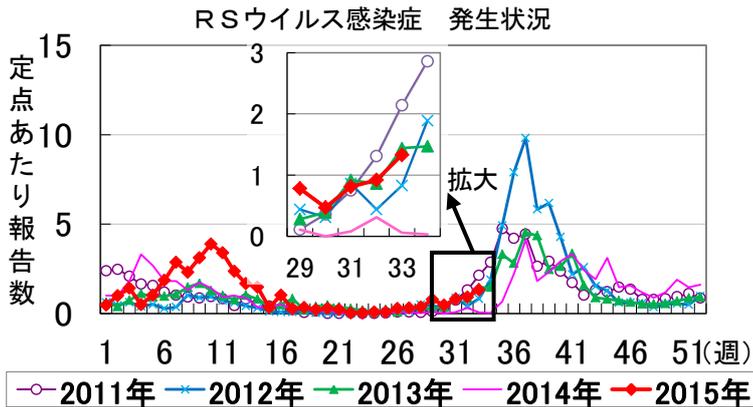
・定点医療機関からの報告総数 865 人（定点当たり 26.6）で、前週比 76%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

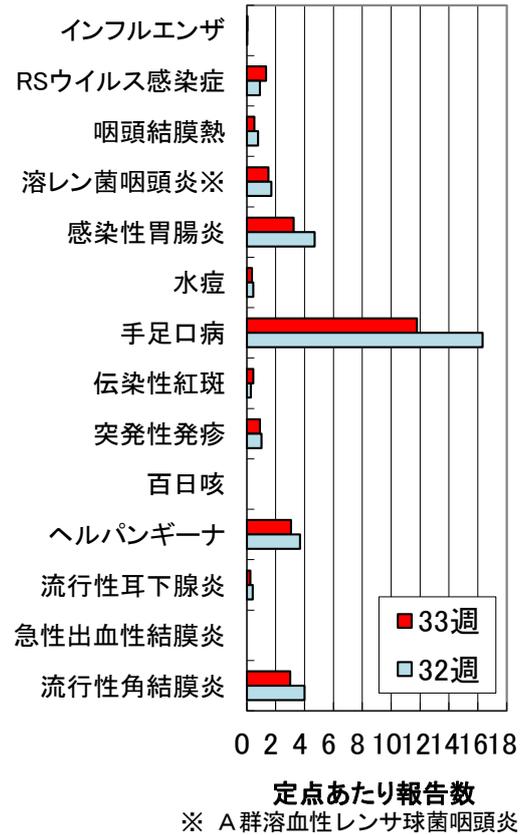
【RSウイルス感染症】

・報告数は 48 人（1.3）で、前週比 145%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*（0.93）の約 1.4 倍と多い。年齢別では 1 歳が全体の半数を占めた。

*過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値。

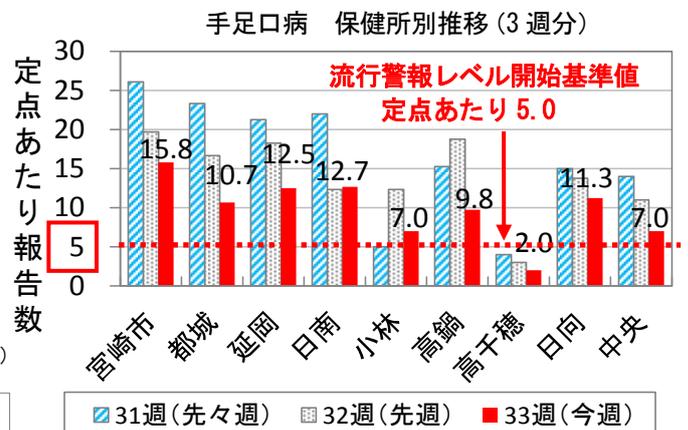
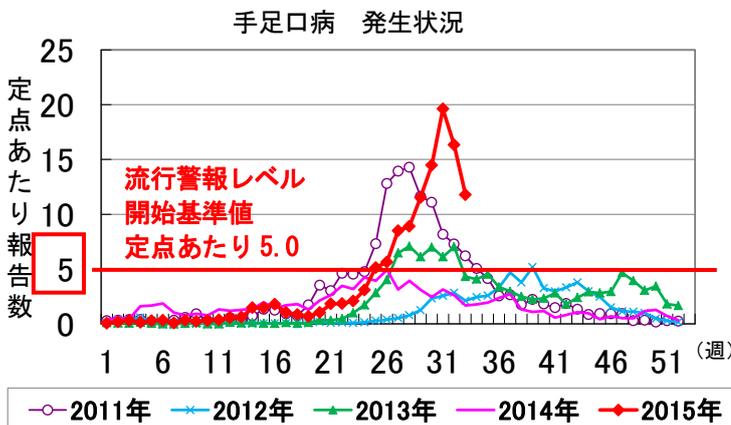


《前週との比較》



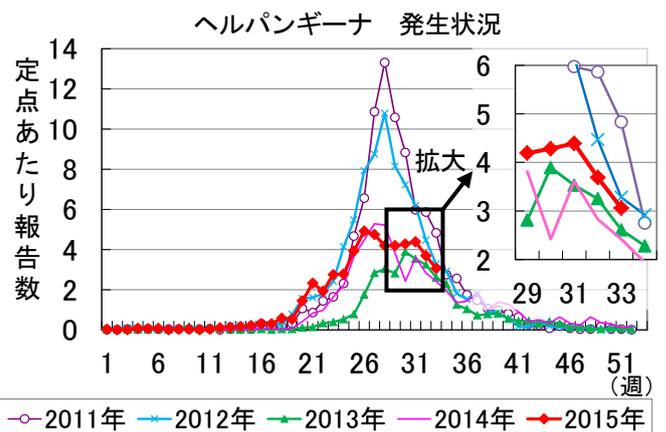
【手足口病】

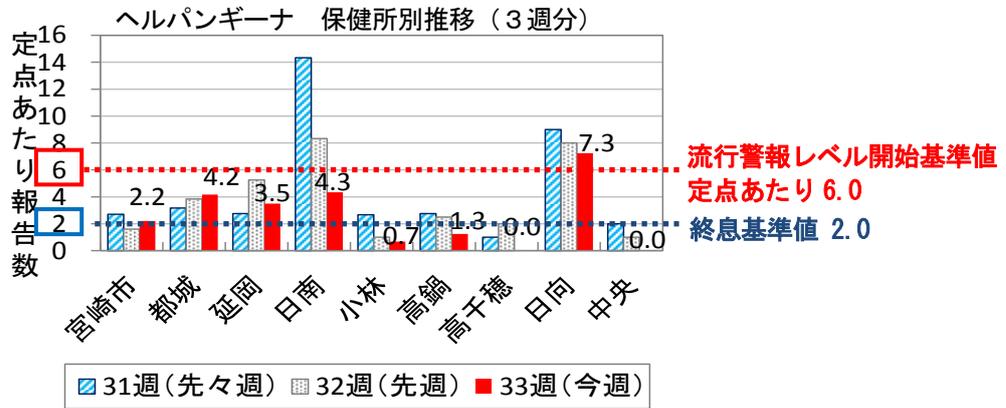
・報告数は 424 人（11.8）で、前週比 72%と減少した。流行警報レベル（5.0）を超過している。例年同時期の定点当たり平均値*（3.8）の約 3.1 倍と多い。宮崎市（15.8）、日南（12.7）、延岡（12.5）保健所からの報告が多く、年齢別は 1～2 歳が全体の約 6 割を占めた。



【ヘルパンギーナ】

・報告数は 110 人（3.1）で、前週比 83%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*（2.8）の約 1.1 倍であった。日向（7.3）保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳が全体の約 4 割を占めた。





★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：都城保健所管内で1例報告された。

0歳で、鼻腔粘液からRSウイルスが検出された。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患	*流行警報レベル開始基準値*
宮崎市	手足口病(15.8)	・手足口病(5.0)
都城	手足口病(10.7)	・ヘルパンギーナ(6.0)
延岡	手足口病(12.5)	
日南	手足口病(12.7)	
小林	手足口病(7.0)	
高鍋	手足口病(9.8)	
高千穂	なし	
日向	手足口病(11.3)、ヘルパンギーナ(7.3)	
中央	手足口病(7.0)	

📌 全国第32週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第32週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	359例				
3類感染症	細菌性赤痢	4例	腸管出血性大腸菌感染症	123例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	4例
	デング熱	5例	日本紅斑熱	2例	ライム病	1例
	レジオネラ症	30例				
5類感染症	アメーバ赤痢	11例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26例
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	18例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	16例	水痘(入院例)	4例
	梅毒	28例	破傷風	7例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
	風しん	4例	麻しん	1例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比90%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

手足口病の報告数は27,935人(9.0)で前週比87%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(3.4)の約2.7倍と多い。新潟県(21.0)、山形県(20.2)、宮城県(17.6)からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は8,160人(2.6)で前週比86%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.8)の約0.9倍であった。高知県(5.7)、和歌山県(5.3)、長野県(5.2)からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第33週(8月10日～8月16日)

疾病名		第32週	第33週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1	3						3			
	定点あたり	0.02	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	33	48	20	21		2				2	3
	定点あたり	0.92	1.33	2.00	3.50	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.50	3.00
咽頭結膜熱	報告数	28	19		7	2	1	1	1		6	1
	定点あたり	0.78	0.53	0.00	1.17	0.50	0.33	0.33	0.25	0.00	1.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	61	54	14	5	7	7	6	1		9	5
	定点あたり	1.69	1.50	1.40	0.83	1.75	2.33	2.00	0.25	0.00	2.25	5.00
感染性胃腸炎	報告数	169	117	41	26	1	12	9	6	3	12	7
	定点あたり	4.69	3.25	4.10	4.33	0.25	4.00	3.00	1.50	3.00	3.00	7.00
水痘	報告数	16	13	7		2		3	1			
	定点あたり	0.44	0.36	0.70	0.00	0.50	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	588	424	158	64	50	38	21	39	2	45	7
	定点あたり	16.33	11.78	15.80	10.67	12.50	12.67	7.00	9.75	2.00	11.25	7.00
伝染性紅斑	報告数	10	16	13	2		1					
	定点あたり	0.28	0.44	1.30	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	33	12	5	3	4	1	2		4	2
	定点あたり	1.03	0.92	1.20	0.83	0.75	1.33	0.33	0.50	0.00	1.00	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	133	110	22	25	14	13	2	5		29	
	定点あたり	3.69	3.06	2.20	4.17	3.50	4.33	0.67	1.25	0.00	7.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	15	9			1	1	7				
	定点あたり	0.42	0.25	0.00	0.00	0.25	0.33	2.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	24	18	12	1	5						
	定点あたり	4.00	3.00	4.00	0.50	5.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数	3	1		1							
	定点あたり	0.43	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～33週)

2類感染症	結核	141例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	26例(3)				
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	5例(1)	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	7例(2)	マラリア	1例	レジオネラ症	3例
5類感染症	アムールバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	13例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	4例
	水痘(入院例)	2例(1)	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	2例
	破傷風	5例				

()内は今週届出分、再掲